

### お知らせ

○次回定例活動日：7月21日(月・祝日) 9時30分第2駐車場集合、主な活動メニューはニホンジカ頭数調査、食害調査、マダケ林・ホテイ岬などの植生保護柵、植生調査、稀少種の保存状況調査と保護など。小雨決行、雨具持参、森の踏査に相応しい安全な服装・帽子・履物でご参加下さい。

### 活動の記録

6月22日(日) 雨 参加9名；新井夫妻・伊藤・大賀先生・久我・福島・真鍋・村野・山脇

6月の森の様子を見逃したくないため、雨の中活動を強行。シカ頭数調査は中止、前回設定した調査区の食害調査、島内の植生や植物保護の状況など調査し、昼前に雨脚強まったため県民の森管理事務所に引き上げて昼食後、今後の予定など打合せ。大雨・洪水注意報にもかかわらず参加くださった9名の会員の皆様お疲れ様でした。

○食害調査；先月に引き続き第2回目の食害調査を行いました。予定では、調査区をさらに3, 4箇所設置する予定でしたが雨のために延期し、既設の調査区における食害状況を調査しました。No.1では、イヌツゲ、オオバウマノスズクサ、ウリカエデ、カンアオイ、ヤブムラサキ、ウツギに新たな食痕が認められました。No.2ではイヌガヤのみに新たな食痕が認められました。No.3では、アラカシ、イヌザンショウ、オオバノトンボソウ、ナガバノコウヤボウキ、フモトスミレ、ヤブムラサキ、キヨスミギクに新たな食痕が認められました。ニホンジカの目撃や新しい痕跡は見つかりませんでした。この1カ月の間に明らかに島内の植物を摂食していることがわかりました。

○林内観察；景観林、巨木林、コナラ林、マダケ林とスタジイ林を巡回し、保護植物の状況や食害植物の状態を観察した。

(1) 金網で保護したツチアケビは見事に開花し花が金網からはみ出していたので金網内に収めた。ヤマユリ保護柵内のヤマユリは生存しているが、成長はあまり良くない。日照不足気味か？スタジイ林のクロムヨウランは健在。

—昨年設置のマダケ柵内には12本のタケノコが発生して健在であるが、昨年設置柵内のタケノコは食害に遭い全滅、動物侵入の形跡はなく、食痕からノウサギの可能性もある。保護柵のないホテイチクのタケノコは全滅に近いので、今後ホテイチクも何らかの保護が必要と思われる。

(2) 樹木被害 新芽の出たイヌガヤ(写真)、ヤブムラサキシキブなどに、枝が折られた樹木が目立った。鹿が新芽を食いちぎる時に枝まで折られてしまうようだ。



降雨前に集合写真



食害調査



元気に開花したツチアケビ



上半身を折られたイヌガヤ

### 今年も豊英島にトビ誕生して成長中



6月8日（高橋）

可愛い二羽のヒナ誕生を確認。親鳥がそばに寄り添っていました。巣の中には大きな魚一匹、丸ごと持ち込まれています。親鳥がこれをちぎってヒナに与えているようです。（高橋記）



6月22日（福島）

6月22日、ヒナは一羽でした。（福島）6月24日久しぶりの晴天にトビの巣を訪ね、ヒナ一羽になっていることに驚きました。ヒナの体格は前回観察時より二周りも大きくなった感じで、全体に短いこげ茶色の羽根が生えはじめています。くちばしも目も鋭さを増してきました。巣にはエサの魚は見られず、2時間の観察中に親鳥は巣に姿を見せませんでした。なんとか元気に育ってくれることを願っています。（高橋記）



6月24日（高橋）